



女子サッカー部報告

編集

足立 智佳・大坪 史乃(1年生)

毎日ブログ更新!最新情報はこちらで!!
<http://toin.sakura.ne.jp/>

KEEP EVOLVING to MAKE LEGEND

2015年1月31日 NO.74

2014-2015シーズンチームスローガン:伝説を作るために進化し続ける

5年連続6度目の出場

全国高校選手権2年連続ベスト8

準々決勝で優勝候補藤枝順心に惜敗

平成26年度第23回全日本高校サッカー選手権大会は、1月3日から兵庫県で開催され、大阪桐蔭は準々決勝で優勝候補藤枝順心高校(東海第1代表/静岡)に激闘の末敗れたものの、2年連続ベスト8進出を果たした。決勝は日ノ本学園(関西第1代表/兵庫)が常盤木学園(東北第1代表/宮城)をPKで破り、2年連続の優勝と昨年インターハイ、選手権の2冠を2年連続で果たした。

大会には多くの桐蔭ファミリーが駆けつけ、選手も桐蔭魂を見せた。1回戦は開志学園JSC(北信越第2代表/新潟)を2-0で破り、2回戦も三重高校(東海第3代表/三重)のスピードにおびやかされたが5-2で破った。準々決勝では優勝候補の一角、藤枝順心から先制点を奪うことができたが、後半勝ち越され1-2。惜しくも勝利を逃した。

◇1回戦(1月3日 五色台運動公園サブグラウンド)40分ハーフ

大阪桐蔭 2-0(1-0)開志学園JSC

【得点】22分永野、56分岩根

初戦は今大会2度目の出場となる開志学園JSC。夏の交流試合では4-5で敗れている。大阪桐蔭は立ち上がりから積極的にボールを前に送り攻撃を試みるが、なかなか得点には結びつかない。そんな中、前半22分中山の縦パスに永野が抜け出し絶妙なトラップからキーパーとの1対1を確実に決め、先制点を奪う。後半56分、持田からのコーナーキックに後ろから飛びこんだ岩根がヘディングで合わせ追加点を奪った。開志の猛攻に苦戦したが、このまま逃げ切り2回戦へ繋ぐことができた。

◇2回戦(1月4日 みきぼろパークひょうご第2球技場)40分ハーフ

大阪桐蔭 5-2(2-0)三重

【得失点】26分永野 31分永野 60分持田

64分足立 69分、75分失点 80分持田

2回戦の相手は初出場となる三重高校。前半26分呉屋がスライディングでボールを奪い、そのボールを田中梨華がシュート。最後は永野が触ってゴール。続いて31分持田の右サイドからのフリーキックに岩根が頭で折り返し、永野がシュートし2点目。後半に入り、60分田中ちひろからの縦パスを持田が受け、倒れこみながらシュートを放ち3点目を奪う。しかし、69分三重高校山本のコーナーキックからゴール前で混戦となり川口に決められ4-1。75分三重高校スピードのある日野に右サイドを突破されクロスを受けられ中央で高田に決められ4-2。立て続けに2点を奪われ

会場に緊張感が走った。それでも80分途中交代で入った京井の左足のシュートをGKがはじき、こぼれを持田がシュート。だめ押しの5点目を決めた。試合はこのまま終了。2年連続準々決勝へコマを進めた。

◇準々決勝(1月6日 三木総合防災公園陸上競技場)40分ハーフ

大阪桐蔭 1-2(1-1)藤枝順心

【得失点】12分中山、26分、51分失点

ベスト4進出をかけた試合。相手は前回大会準優勝校の藤枝順心となった。藤枝順心は1回戦岡山高梁日新(中国第2代表/岡山)に12-0、2回戦北海道文教大学明清(北海道第2代表)に4-0で勝利し勝ち上がってきた。

前半は相手のスピーディーな攻撃にもなんとか食らいついていき、11分永野からの前線へのパスを右サイドバックの中山が駆け上がり先制点をあげた。勢いに乗ったかと思われたが、26分ペナルティエリア中央付近でクリアボールに対する連係ミスから1点を決められ1-1で折り返した。後半も集中し戦ったが51分左サイドからのクロスの中で触られ得点を許した。大応援団の声援を背に最後まで諦めずに得点を狙いにいったが、試合終了のホイッスルが鳴り、今大会も昨年に続きベスト8に終わった。

フラミンゴ合同クリスマスパーティ

12月7日エル・シティ南港内レストラン「エル・プエロ・ブランコ」にて大阪桐蔭アスリートクラブ石田理事長主催、フラミンゴフットボールクラブとの合同クリスマス会が開催された。フラミンゴの小

学生・中学生、保護者の方々やステータキなどの料理やたくさんのデザートをお腹いっぱい食べ、さらに桐蔭ファミリーとの交流を深めることができ、楽しいひと時を過ごした。会の終わりには桐蔭生とフラミンゴ部員で日頃お世話になっている方々や保護者の方々に向けて、嵐の「マイガール」を歌い感謝の気持ちを表した。

大阪桐蔭カップU-15

12月28日~30日、J-GREEN堺で第6回大阪桐蔭招待大会U-15が開催された。東京や岡山など全国各地から中学生年代チーム16チームが参加し、3日間にわたり熱戦が繰り広げられた。優勝は豊田FCレディーズB、準優勝はFC Terra、第3位に湯郷Belleが入った。この大会には下部組織のフラミンゴフットボールクラブも参加し、優勝した豊田FCレディーズBにPKで敗れ惜しくも4位となったが、セレッソ大阪に勝利しグループリーグ1位で通過するなど好成績を残した。大阪桐蔭女子サッカー部は審判と運営全てを行い、スムーズな大会運営に貢献した。

卒業式と謝恩会

大商学園との卒業ダービー

1月24日大阪桐蔭アリーナで第30期生卒業式が行われた。女子サッカー部3年生16名もそれぞれの思いを胸に式に臨んだ。卒業生を代表してキャプテンの持田が答辞を述べ、これからの抱負と感謝の気持ちを伝えた。女子サッカー部で答辞を読むのは持田が初めての栄誉で、2020年東京オリンピックを目指す世代の代表として決意を語った。女子サッカー部は在校生が卒業生を送り出す会を教室で、保護者による謝恩会を大阪市内のホテルで行い3年生との別れを惜しんだ。翌日25日は昨年から行っている大商学園との3年生ダービーマッチを大商学園で行った。永遠のライバル同士の熱い戦いがみられ、それぞれまた同じチーム、別のチームになってお互いの活躍を誓い合った。